

## 県下JAの平成28年度決算の概要

平成29年5月17日  
静岡県農業協同組合中央会

### 1. 損益の状況

～ 販売事業以外の各事業総利益が減益 ～

(単位:百万円)

	28年度	前年比		
		前年比	比率	
事業総利益	78,888	▲ 782	99.0%	(一般企業の売上総利益に該当)
うち信用	41,254	▲ 741	98.2%	(貯金の受入、資金の融資)
共済	23,568	▲ 34	99.9%	(共済商品の取扱)
購買	8,177	▲ 243	97.1%	(農業生産資材、生活資材の販売)
販売	4,044	296	107.9%	(農畜産物の販売)
加工	982	▲ 23	97.7%	(茶など農産加工品の販売)
事業管理費	71,393	276	100.4%	(一般企業の販売費・一般管理費に該当)
事業利益	7,496	▲ 1,059	87.6%	
経常利益	10,761	▲ 983	91.6%	
税引前当期利益	10,119	▲ 711	93.4%	
当期剰余金	7,197	▲ 575	92.6%	

#### (1) 事業総利益は788.9億円、前年比99.0%と7.8億円の減益

一般企業の売上総利益に当たる事業総利益が788.9億円(前年比99.0%、7.8億円減)と3期連続の減益となった。

##### ① 信用事業

預金残高の増加等により預金利息が7.6億円増加した一方で、金利の低下等により貸出金利息が18.8億円減少したため、信用事業総利益は412.5億円(前年比98.2%、7.4億円減)となった。

② 共済事業

奨励金等が 2.0 億円増加したが、長期共済保有高および共済新契約高の減少により共済付加収入が 3.4 億円減少したため、共済事業総利益は 235.7 億円（前年比 99.9%、0.3 億円減）となった。

③ 購買事業

肥料、飼料等の需要低迷により購買品事業総利益は 81.8 億円（前年比 97.1%、2.4 億円減）となった。

④ 販売事業

みかん、野菜が好調で販売品販売・取扱高が増加したため、販売事業総利益は 40.4 億円（前年比 107.9%、3.0 億円増）となった。

**(2) 事業利益は 75.0 億円、前年比 87.6%と 10.6 億円の減益**

事業管理費は 713.9 億円（前年比 100.4%、2.8 億円増）となり、事業利益は 75.0 億円（前年比 87.6%、10.6 億円減）と減益となった。

**(3) 経常利益は 107.6 億円、前年比 91.6%と 9.8 億円の減益**

**(4) 税引前当期利益は 101.2 億円、前年比 93.4%と 7.1 億円の減益**

**(5) 当期剰余金は 72.0 億円、前年比 92.6%と 5.8 億円の減益**

## 2. 主要事業量

～ 買取販売高が 110.9%伸長 ～

(単位:百万円)

	28年度実績	前年比		全国順位
		増減	比率	
貯金	5,171,169	107,825	102.1%	4
預金	3,686,035	113,731	103.2%	-
貸出金	1,301,226	▲ 20,582	98.4%	3
有価証券	331,971	6,045	101.9%	-
長期共済保有高	15,294,964	▲ 329,516	97.9%	2
長期共済新契約高	1,098,183	▲ 21,428	98.1%	2
購買品供給高	53,721	▲ 1,571	97.2%	-
販売品販売・取扱高	92,703	2,807	103.1%	-
(うちファーマーズマーケット等)	12,394	577	104.9%	-
(うち買取販売高)	3,653	359	110.9%	-
製品販売高	6,775	▲ 231	96.7%	-

### (1) 信用事業

貯金は5兆1,712億円で前年比102.1%、1,078億円の増加、一方貸出金は1兆3,012億円で前年比98.4%、206億円の減少となった。

なお、全国順位では貯金は愛知県、神奈川県、兵庫県に次ぐ4位、貸出金は神奈川県、愛知県に次ぐ3位の実績となった。

### (2) 共済事業

長期共済保有高は15兆2,950億円で前年比97.9%、3,295億円、長期共済新契約高は、1兆982億円で前年比98.1%、214億円の減少となった。

なお、全国順位では保有高、新契約高とも愛知県に次ぐ2位の実績となった。

### (3) 購買事業

購買品供給高は537億円で前年比97.2%、16億円の減少となった。

これはハウス建設により保温資材が2.9億円、施設園芸使用のため農薬が2.3億円の増加があった一方で、茶園面積減少等により肥料が4.8億円、飼育数の減少により飼料が4.2億円減少したことによる。

### (4) 販売事業

販売品販売・取扱高は927億円で前年比103.1%、28億円の増加となった。

これは、お茶が2.7億円減少した一方で、みかんが豊作のため11.7億円、野菜が全国的天候不順で高値基調の影響もあり8.0億円増加したことによる。

また、買取販売高は、契約販売の契約量、直売所での販売が増加したことにより3.6億円増加した。

### 3. 財務の健全性

#### (1) 不良債権への対応 ～不良債権比率は0.16%改善～

不良債権額は23.0億円減少し、163.7億円となった。不良債権比率（リスク管理債権比率）は、1.25%となり前年比0.16ポイント改善した。

なお、不良債権に対しては、担保や貸倒引当金により十分な保全が図られている。

#### 不良債権の状況

（単位：百万円、%、ポイント）

	貸出金残高	不良債権額	不良債権の内訳				不良債権比率
			破綻先	延滞	3ヶ月以上延滞	貸出条件緩和	
県下合計	1,301,225	16,372	378	15,512	0	481	1.25
対前年増減	▲ 20,582	▲ 2,297	▲ 210	▲ 1,549	▲ 216	▲ 322	▲ 0.16
対前年比(%)	98.4	87.7					

#### (2) 自己資本比率 ～県下平均は17.62%～

県下JAの自己資本比率の平均は17.62%となり前年比0.59ポイント低下した。しかし、最も低いJAでも13.93%と高い水準を確保しており、国内基準の4%を大きく上回っている。

#### <県下17JA>

伊豆太陽	三島函南	伊豆の国	あいら伊豆	なんすん	御殿場
富士市	富士宮	しみず	静岡市	大井川	ハイナン
掛川市	遠州夢咲	遠州中央	とびあ浜松	みっかび	